THE WOMAN'S WEEKLY

第貳卷 第七號

每週金曜日發行

（大正四年十一月四日第三種郵便物認可
大正五年二月十一日發行）

婦人週報

本號目次

□祝紀元節…一 □一人評「與謝野晶子」…三
□わが娘に職業教育を授くべきか…小橋三四子 一—二
□男女教員の優劣……………杉浦恂太郎…四—五
□巖谷邸の春遊會…十 □時事週評…二
□店頭より…靜美堂主人 □東京と大坂の襟卷 浩一路 十一
◎他人の家庭か寄宿舍か……六—九
▲他人の家庭の思はぬ不便（櫻井親子）▲團體生活の味（平野濱子）▲理想的な舍母（二階堂さくよ）
□體質氣質の素因…………澤田斬雲…十一
□暖い陽氣と化粧…小口みち子 □兒童の入學試驗 十三
□おいしい五目壽司—櫻井ちか子 □子供智慧 十四
□オハナシ「伊那の笹原」綾羽 十五 □ユーゴーの母 翠子 十六
□小說「何處へゆく」…………松本雲舟 十七
□甲斐の家—安中花子…九 □時事…………十九—二十

定価一部四銭五厘

郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

院長診察月、水、木、金午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地（市ケ見附内）
電、番六二二番

東洋内科醫院

院長 醫學士 **高田畊安**
電話ちがさき二番

南湖院

相州茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります
和洋服 **外套インバ** 東コート **ネル・セル・ショール半襟毛皮**等のクリーニングと染色を**丁寧親切**迅速に致します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留場際
電話新橋三一〇八

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 **女醫 吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

◎生徒募集 家族的寄宿の便あり

個人教授 **裁縫技藝**
●編物●袋物●刺繍●造花●摘細工●縫細工●綿細工●壜細工●儀式用折紙●水引結方
▲入所時間科目隨意
麹町區富士見町五ノ二
大妻技藝傳習所

あかくはれ、くづれていたむのがすぐなほる
しもやけの藥
陸軍常用 **石樟膏**
毎年の大好評故是非御試しあれ
藥價 金十錢 送料 金二錢
（三錢郵券四枚封入申込あれば直ちに發送）
小石川區高田老松町十七番地
製造發賣 **目白藥局**
振替東京三一六九二

古本 **專門買入**
小石川區大塚
御報參堂
山加書店

産科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

齒科
ドクトル **富田貞一**
電話浪花五四〇五
日本橋區高砂町六
（久松町停留場より西一丁）

眼科一般
診察時間毎日午前午後
入院設備アリ
吉野眼科院
小石川區高田豊川町
（女子大學校前）

◎**小兒科**
◎**内科**
小石川區高田老松町十二（細川侯邸前）
千葉醫學士 **清水榮**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝紀元節

大典後第一回の紀元節を迎へて、わが皇國の隆運を壽ぎ、今後の平和と發展とを心から祈りたいものであります。遠く歐洲の戰亂を思ひ、近く隣邦支那の動亂を聞いて、世界は愈よ多事多難ならんとする時に當り、美はしき國體に護られて其の業に安んずる我が國民の幸福を一層有難く思はるゝのであります。文部大臣は立憲的思想を徹底せしむる目的を以て今日の佳節を期し、憲法訓話を全國小學校及び中學程度の學校に配布する由ですが、誠に時宜を得た企で、わが國體、おが政體を解する事は、やがて國家に忠良の民たる第一歩となる事であります。揺ぎなき御代の萬歳を再び祈り奉る。

わが娘に職業教育を授くべきか

小橋三四子

△中流家庭の問題

わが娘に職業教育を授くべきか否かといふ事は、今や心ある中流家庭の問題の一つでありませう。世の生活が安易な間は、女は單に夫と子女とに拂ふ犧牲によつて、當然その保護を受けて、安らかに一生を終るべきものとして居りましたが今やこの定義は往々外れ勝ちになりまして、善い惡いを問ふ前に、妻たり母たる人が働らいて一家の生活を助けなければならぬ要を多く見聞するやうになりましたので、所謂良妻賢母たるにも、亦職業教育は必要といふことになりました。そして女子に職業を受ける事を喜ばぬ父兄も、わが娘、わが妹の爲めには、その準備教育をして置いてやり度いと願ふ處から、年々に女子の職業教育は隆盛に赴いて參るやうであります。

△今の女兒の理想

然るに今の小學生から女學校の生徒に至る迄、試みに「あなた方は成人して何になりたいのですか」と尋ねて御覧なさい。「よい處にお嫁に行つて、夫を助け、子供を立派に育てます」と答へます。これが決して惡からう筈はありませぬが、昔の女大學式と多少の樣式の異つて、その精神は全然同一なる今の女子教育に育つた女子が、俄かに世の必要に驅られて、職業教育を受くるとすれば、其處に大きな矛盾の結果、困難が湧いて來なければなりますまい。

△未熟な女子就職者

第一に女子が職業に從事して感ずるのは、その能力の不足であります。一定の與へられた仕事を機械的に運んで行くには、左程の困難もありますまいが、常に研究し、創始して行く職業には、多くは堪へられぬので「女計りに任せて置いては仕事が發展せぬ」といふのは殘念なが

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら事實であります。これに次いで體力や精神力も弱いので、少しの事も苦になり心身を過勞するの結果、取返へし難き病弱の人間となる事も尠なからぬやうであります。

△所謂女の子の教

要するに今の女子の職業教育は、砂の上に建てられた家であつて、その根本に於て誤られて居るのであると思ひます。かやうな有様では却つて女子そのもの、發展を妨げる斗りでなく、その職業をも害うことになります。然らば如何にすべきかと云へば、職業教育を授くる前に、所謂女の子の教育といふ事に、特に家庭で注意を拂はれたいのであります。某女流教育家で數人の子女の母なる人は「低能兒の教育に一倍の力が入るやうに、永い間の遺傳の結果、男兒よりも劣つて居る女兒を教育するには、どれ程骨が折れるか解りませぬ」と申されましたが、心ある母がその兒に玩具を預ける初めから女の兒はおとなしくてよいとか、物を壞さないでよいとか申して喜ぶ他方に、その五感の働らき鈍く、研究力、創始力に乏しい有様を見て如何にして、これを啓發して行かうかと考へ始めたら、女兒の教育は今後必ず改善されて參りませう。

△優良な人間になつたら

優良な人間が友としても頼母しく、喜ばしいやうに、女子がもつと凡てに進んで參つたら、今の男子の生活はもつと明るく、賑はしくなるに違ひありませぬ。そして眞實に同情同感の通ふ生き〳〵とした家庭となり、社會となる事が出來やうと存じます。

時事週評

▲加藤弘之男薨去　文學博士加藤弘之男は胃潰瘍にて九日薨去されました。博士は八十一歳の高齡學界の故參者でした。唯物論に囚はれて、一種の僻見を採つてゐられましたやうですが、終世其の說を變へられませんでした所は珍らしいといへませう。

▲簡易保險法案　政府は二十圓から三百圓までの簡易保險法案を議會に提出しました。郵便局で取扱ふさうですから、中流以下の月給取や勞働者には至極便利だと存じます。全國の保險業者はこれに反對運動をするやうですが、それほど利益が衝突するでせうか。

▲雪を見る　二三日來の雪と雨とのために氣候が餘程、快くなつたやうに思はれます。空氣乾燥のために、風邪が非常に多かつたのが、雪と雨とのために一掃されたら結構です。身に病ある者もなき者も、變り易い此頃の氣候に攝養を專一にせねばなりません。

▲圖書雜誌値上　圖書組合も雜誌組合も印刷料や紙代が騰貴しました爲めに、二割乃至三割定價を擧げる事になりました。わが週報の如きも、現在の用紙が三月末頃までは貯へてありますが、それ以外は高い紙を使はねばならぬ運命を持つてゐます。實際戰爭の影響がかういふ處にまで及ぼさうとは思ひませんでした。誠に困つた事です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人一評

與謝野晶子

▲夫に及ぼせる細君の感化といふ事に就て、其の實例を擧ぐれば、與謝野鐵幹氏における晶子さんの如きは其の最たるものであらう。現在晶子さんを通して見たる鐵幹氏はいかにも品の好い立派な紳士のやうに遠目からも見える。昨年の總選擧に代議士の候補として打つて出でられた時でも、女詩人たる晶子さんが自から自動車で運動される光景を見ると、御本尊はいかにも最も適任な代議士候補らしく見えて來る。御光は佛さんから發するものであるが、御光が佛さんを尊くするとは言ふまでもない。細君の光は七光とでもいはずばなるまい。

▲結果が善であるならば、其の原因も善であるといふやうな倫理說があるとしたならば、鐵幹氏が先妻を離別して、弟子である晶子さんを迎へたとは善であるといへる。鐵幹氏は晶子さんを獲てから、安住の地を見出したやうに、立派に行ひ澄すとが出來るやうになつたからである。勿論夫を德化した晶子さんにも偉い所があるといへるが、妻に德化された鐵幹氏にも天性詩人としての柔しい情緒があつたからであらう。

▲晶子さんは善き妻である。夫のために澤山な子供を生んだ。夫のために每日詩を作る、小說を書く、評論をする。然も其の貞操の觀念は頗る高い。どんなに女が新しくなつても、操ばかりは大切にしたいといふやうな議論をどこかに書いておかれたのを讀んだことがある。晶子さんは其點に於て誠に感心な方である。

▲晶子さんの歌がどれほど巧いのか、門外漢の批評の限りでない。けれども晶子さんの歌といふものが、歌讀み以外にも其の價値を認められるやうになつてゐるとは事實である。蘆花の不如歸といふ小說は誰れでも知つてゐる。それと同じやうに晶子さんの歌といふものは、これを讀んで意味を解せぬものにまで、はあ、これが晶子さんの歌ですか、と言はれる程度に通俗化してゐる。これまで賣り出すには容易な事ではない。

▲鐵幹氏は晶子さんの歌の師匠である。晶子さんの歌才を見出したのは鐵幹氏である。晶子さんは鐵幹氏に知られ、愛され、これと同棲するやうになつてから、益々其の歌才を發揮したといはれてゐる。情的生活の滿足がこれほどまで藝術的才能に影響を及ぼすものかといはれてゐる。鐵幹氏は凡て其の詩的才能をこの妻に讓り渡してしまつたやうな傾きがある。

▲晶子さんは美人ではないが、顏の大きい、色の白い、表情に富んだ方である。無口であるが、其の顏は至つて雄辯である。一度何處かで其の姿を見た事があるが、其のなよやかな容姿は記者の頭に深く入つてゐる。あゝいふ奧樣を發見した鐵幹氏は大なる事業を成就したといへやう。（くら）

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女教員の優劣

比較する前にその境遇を見よ

誠之尋常小學校長　杉浦恂太郎

前號に揭げました津田梅子女史の「婦人の感化なき今の男子」と題する御話中「女子の小學教員に及ばない」と云ふ澤柳博士の御言葉について其原因を知りたいと申されて居りますが、記者は之について東京市の小學校長中經驗學識共に優れ、特に奏任官の待遇を受けてゐられる誠之小學校長杉浦氏の御話を揭げ、此問題の解釋の參考といたしたいと存じます。

△根本に觸れぬ感

澤柳博士が女教員は男教員に劣ると申されたとすれば、それは女子教員を刺戟されたものとして傾聽しなければならぬと思ひますけれども、一般に男女教員の優劣と云ふ事を口にするのは、多く概括的の論で、其根本に觸れてゐぬかの感があります。元來、現今小學校令に依ると、高等小學は一級六十名、尋常小學は一級七十名を定員として、之を本科正教員一名が擔當し、教育する事になつて居り。ますが、實際は其の定員を超過する傾きがあります。かゝる多人數の集團を教授するに、生徒一人〳〵の個性を知り、之に適した境遇に置き、適當な刺戟を與へると云ふ樣な事は殆んど不可能の事に屬し、僅かに教案たるものを作製して、集團的に教授して、先づ自ら思つた處に教育し得るを以て滿足せねばならぬ狀態にあるのです。如斯過重の責務を負はされてゐる小學教員の男女何れが優り、何れが劣れるかを論ずるは餘り早まつた話であると思ひます。

△適否は其の人々の如何による

凡そ小學教員として何人が適當であるかを實際上より言へば、其人々の如何に在るので、男女性の差別はないと思はれます。例へば此の女教員ならば二十人の兒童を教育し得るであらう、彼の女教員には三十人位は受持たせてもよからう、此男教員には廿五人位が適當であらうと云ふ如く、其の教員の教育上の力量如何に依るので、一概に女教員は男教員に劣るとは申せませぬ。女子には緻密なる觀察とか、母らしき注意とか、男子に優る點を持つと同時に、其半面には男子に及ばぬ點も多いのであるから、男子女子が相互扶助的に働いて始めて一つの完全なる教育が出來るので、女子の小學教員としての價値は決して男子に劣るものではないと思はれます。

△現在の女教員に就て

只現在の女教員については、之れ丈の事は言へると思ひます。第一には女子は自らの生理的から、社會上の活動に不利益なる點を持つてゐる。尙ほ家庭の人となつてからは、男子は專ら公務の爲めに働く事が出來るのに、女子は主婦としての働き、又は分娩育兒等の責めを持つ事から、公職の上に於ては男子の如く全心全力を傾倒する事が出來ぬ境遇上の不利益があります。又女子の在職年數は男子に比して甚だしく劣つてゐると云ふ事實なども、境遇から餘儀なくされる事が與つて力あるので、この點は同情して考へなければならぬ事と思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△同様の境遇にありとすれば

けれども男教員と同じ様な境遇にある女教員と、男教員とを比較すれば、其處に男なるが故に優り、女なるが故に劣ると云ふ事を見出す事は困難です。それは師範學校を卒業したばかりの男女教員を見ればよく判る事で、家庭の煩累もたく專ら知力體力の涵養に努めてゐた師範卒業當時の女教員は全く同じ男教員と變りはないのです。故に現在の如き家庭組織でなく、女子も公務を持つ時には、家庭に於て男子と同じ様な境遇に置かれたならば、殆んど男女教員の優劣等の聲を聞かなくなるかも知れませぬ。

△女教師の將來に囑望す

今日に於ても津田梅子さんや安井哲子さんの如き一流の女流教育家は、却々男子も及ばぬ立派な教育家である如く、必ずしも女子が男子に劣るとは申せませぬ。唯現在の女教員は前申した様な境遇上專ら公務に盡す事の出來ぬものがあるので、概括的に見て劣るものが男教員より多いとは申せませう。が、過去三十年二十年十年前の女教員と、現今の女教員とを比べれば殆んど隔世の感がある如く、將來尙大いに進歩すべきものがあると思ひますから、現在の女教員を見て女子の小學教員としての適否を斷ずるは早計であると思ひます。例へば過去の女教員は其學力も劣つて居り、教師としての自信力も薄く、安心して職務に盡すと云ふ氣分が無かつたけれど、今日では學力も男教員に讓る事少なく、體力も職務に適應して來て、近き將來には女教員の組合の如きも出來て、女子ばかりで教育上の研究をすると云ふ様な氣運も見えて居りますから、私は寧ろ女教師の將來に望みを囑してゐるのであります。

婦人の聲

□婦人週報を讀みて

黒崎悦子

私に今回婦人週報を讀んで、先づこの週刊誌が、單獨に新時代の若き婦人が社會に奮鬪せられつゝ經營の任に當られるといふ事に就いて、多大の同情と滿足を感ずるのみならず、一方に祝福して止まぬのであります。これは我が國婦人界に於て言論思想上一大進歩として看過すべからざる事であらうと思ひます。實に我が國婦人の社會的事業に疎く、活動の鈍き事は、歐洲の婦人に比して數段の相違懸隔をなして居るのであると存じます。歐米の婦人の如き、戰亂の巷に馳せ、社會の諸機關を運轉して、男子も及ばぬ好成績を擧げて居る時に、我が婦人界はまだ長夜の眠りより覺めぬのは遺憾に堪へぬことでございます。然し社會は双手を擧げて各方面に婦人を待つ事久しいのである中にも、教育界の有様は殆んど靜止して居る有様、また新聞雜誌の口繪より、内容の初頁をかざるは、數十年來社會に貢獻せらるゝ女流教育家の顔觸れで、尙ほ諸種の講演會や會合にもこれ等の婦人が獨占せられ終始不變、言辭まで同一の講話を伺ふ事さへあります。これを一方面より見れば、長き年月國家の爲め、社會事業の爲め、老體をも厭はず活動せらるゝ元氣と熱誠とは感謝の外はありませぬが、社會教育の上より見て、又我々後輩より思へば、時代の進運を度外視してしまひはしないかと思はれます。今日若き人々にして、有爲の天才と能力とを有つて大いに社會の爲めに活躍せんとする婦人等に決して少くないのであります。宜しくその活路を開き、以て先輩の女流教育家に盤踞垂こなく、羅針盤となつて、換言すれば舞臺に若き人々を表にし黒幕より糸を操つて、轉ばぬ先の杖となり導かれん事を切に望むのであります。今や女流教育家の方々は畏くも叙勲の御沙汰にあづかり、其の功績は雲上にも聞えて居る時に、一層自愛自重せられて、新陳代謝の文字を實現し、我々若き婦人の爲に留意せられん事を希望して止まぬ次第であります。

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他人の家庭か寄宿舎か

我愛子を遊學さするには果して何れを撰ぶべきか

他人の家庭の思はぬ不便

櫻井ちか子

△父兄の希望

地方から勉學の爲めに上京せさせんとする女學生を、家庭と寄宿舎の何れを擇んで託すべきかといふことにつき、其の得失に就て批判して見ますと、各々一利一害を有するものでありまして、容易に是非を論ずる事は出來ませんが、地方に居ります父兄が在京の親戚知人の內の、一見立派らしく見ゆる家庭を擇んで娘を託し度いと云ふのは、行儀作法から家事萬端に至るまで家庭に於て必要なる素養を附け度い爲めと、一方には品性の上にも充分な監督をして欲しいと云ふ望みもあり、又も一つには團體生活を營んで居る寄宿舎は、非常に冷やかなもので、そんな處へは初めて親の膝下を離れた娘を入れることは可愛相であると云ふやうな考へから起るのであらうと思ひます。

△むづかしい注文

けれども其の父兄の目的が完全に果されて居るものがどの位ゐあるでせうか。託された家庭では其の人の上に就て色々に心配もし、又注意もするのですが、其の家庭が親權者に代る事が出來るだけの權利を有する家庭であるか、又は其の娘に對しての全權を委ねられて居る家庭でない限りは、細かい處まで一々注意するといふ事は出來難いものであります。或は家庭の人が萬難を排して、その娘の爲めに計つて呉れたと致しましても、それに對して敬意を表して聞き入れなければ其れ迄の事です。ですから家庭で託されて父兄の思ひ通りに目的を果すことの出來る家庭は、親權者と同等の權利を有する家庭か、娘及び兩親迄も尊敬して居るやうな人格を供へて居る人の處でなければ困難であるといふ事になるのです。

六

△學生にとつての不便

次に勉强と云ふ點に就て考へて見ますのに、元來日本の家庭と云ふものは勉强する人々の爲めに充分な好い境遇を與へるといふことは中々出來難い事であります。幸ひにして間數の多い家であつて、一人の人の爲めに一室を與へることが出來るやうな家であつても、唐紙一重に依つてしきられて居る日本建築では、時々不便を感ずることがあります。一例を擧げて申しますと、來客の折りなど時としては十二時一時迄も、隣り座敷で話したり笑つたりして居ることがまゝあります。又客の應接から場合に依つては子供の世話迄、主婦に代つて引き受けなければならない時もあるのです。これは家庭の長所であつて、家庭の趣味、興味を知うとする人の爲めには必要のことですが忙がしい日課に追はれて居りますものに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

取つては、反つて欠點となつて迷惑がられるのです。斯う考へて參りますと、勉强の爲めに多くの時間を要する人の爲めには、寄宿舍を擇んだ方がいゝと存じます。

△寄宿舍の方が便宜

また寄宿舍にも色々の種類がありますから、何處と指定致します事は困難ですが、一般に勉强する人の爲めに設けられた處ですから、從つて種々の事情の爲めに、勉强する時間を取られるといふ樣の事は少なう御坐います。寄宿舍に依つては隨分弊風の多い處もあります樣ですから、入舍致します時には、充分内部の樣子も調べて見る必要はありますが、不幸にして餘り面白からぬ處に入つたとしても、忙がしく勉强して居る人でしたらば、比較的四圍の情實に無頓着で、專心意を學問に注ぐ事が出來ますし、素行上の監督も舍監がなかなか人格者で無くとも、或る程度迄は規則に依つて取りしまる事も出來るのですから、入舍する方が便宜であらうと存じます。然し閑散な人は家事見習ひの心掛で、相當の家庭がありましたら、其處に居ることがまたいゝこともあると思ひます。

△母の躾けが有力

よく寄宿舍に入れると、不作法になると云ふ事を聞きますが、それは其の人の幼時からの習慣が然らしむるのでありまして、母の膝下に於て朝夕見習ひ、耳にした習慣が善良なものであるならば、決して短かい年月の間に、その習慣性が擦りへらされ、又惡化して行くものでは無いと思ひます。例へば食卓の上の注意に致しても、西洋の母が子供に敎へる樣に細かに敎へてありましたならば、寄宿舍に這入つてからも見苦しい事をしなくても濟むでせうにと思はれる事も屢々あります。我が國の家庭では、子供に對して盲目の愛を與へる親は澤山ありますが、其の子が人中に出て恥をかゝない樣にと、眞からの愛を持つて敎へる親は稀れであります。かゝる處にも一歩理解を以つて手元にある間に、よく注意致しましたならば、寄宿舍でそれ程注意しなくても、自然に禮儀も作法も覺えて行くものでは無いかと思ひます。

* * * *

團體生活の味

日本女子大學校教諭　平野濱子

△自炊生活の不利

素人下宿或は友達同志の自炊生活は、一寸考へましたらば、若い娘たちには呑氣な事であり、興味のある又自由の生活であると思はれ、地方に居る兩親から考へますと、弊害の無い限りは非常に經濟的であるやうに思はれますが、晝間學校に出るものが、歸宅後自分の身のまはりのものから、食事の事まで一切を自分一人の手に依つてすると云ふ事は、大抵の事では無いのです。學科の復習の多い時には、遂ひ他家から食事を取つて濟ませるとか、或は洗濯物を他家へ出すとか云ふ事もありまして、經費の上の節約と云ふ事も餘り効果を認められ無いやうになります。

△是非避けて頂き度い

或は二圓三圓の費用を節減し得、又品行上の不都合が無いに致しましても、良家のお孃樣と云ふやうな品性を養つて行く事は至極難い事でありますから、東京に出して敎育を受けさせる事の出來得る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭でありますならば、是非避けて頂き度いと思つて居ります。次は信用ある親戚知己の家庭ですが、眞に勉強を志す者の爲めには、複雜すぎる感があります。そして切角學問をする爲めに與へられた短かい時を、外の事情の爲めに妨げられたり、或は規則が無い爲めに家庭の人々の感情の不調和を生じたり、それで無ければ預りものであると云ふやうな考へから、無闇に大切がられて、掌中の玉の如く取り扱はれたりして、充分な智德の訓練に傾注することが出來ずに、其の機會を無意義に過してしまふことが無いとも限りません。

△團體的生活から學ぶ所

娘の子が家庭から離されて遊學することの出來る期間と云ふものは、實に三四年の短日月であります。この間を家庭で經驗することの出來ない團體的生活を營みながら、智を練ると同時に自己を修養することが出來たならば、他家にあつて一人でコツ／＼とやる勉强よりも、多くの効果を見られると思ひます。然し寄宿舍でさへあれば何處でもいゝとは申されませんから、充分に事情を調べて、成る可く立派な處を撰定しなければならないのは勿論です。色々の弊害の多い寄宿舍に入舍させるよりは、むしろ知己の家庭に託する方が安全です。

△理想的な寄宿舍

では如何なる寄宿舍を撰ぶべきでせうか、第一に確實な保護者があり、師弟の關係が美はしく、長幼の間は恰も姉妹の如き温かさがなくてはならぬと思ひます。第二には共同生活の意義が充分に表はれて、然も乾燥無味でなく、家庭の一部を補ふ爲めの趣味教育、即ち良家の女といふ品性氣風を養ふこと、第三には學校で修得した學科の自習に自由なる設備のある處。第四には經濟思想の教育を充分に行ふことが出來、第五にはその生活の中に精神的教育が行はれて、圓滿な人格が作られて行くやうな處でなければならないと思ひます。けれどもこれ等の凡てが完全に備へられて居るといふ事は出來ないかも知れませんが、少なくともかう云ふ主義のもとに設けられて、そうならうと勤めて居る處であつて欲しいと思ひます。

△家庭と寄宿舍の接近

一體我が國の家庭では女子とか男子とか考へずに、學生といふものに對しては一樣の取り扱ひをして、特別な保護を娘の子に與へて居る家庭は少ないやうです。唯上京させて學校に入れゝば、娘は一人で立派になるものゝ如くに考へて棄てゝ置くと云ふやうでは、決して完全の教育を受けさせる事は出來ません。もつと家庭は學校なり寄宿舍なりに接近してお互に理解し合つて進んで行かなければならないと思ひます。ですから遊學させる時には、必らず其の兩親は先づ學校及び居る處を撰んで、此處ならば娘を託しても心配が無いと見極めが付かなければ、寧ろ上京させない方が增しだと思ひます。

理想的な舍母

女子高等師範學校教授　二階堂とくよ子

△舍監に全權を委ぬ

英國邊では小學生迄も、寄宿生活をして居ります。高等女學校になりますと、教師達は殆ど全部寄宿舍に居りまして、各々五人なり十人なりを受持つて世話を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して居りますが、親達は舍監に全權を委ねて居りますから、母が子供に菓子を送らうとするにも、先づ舍監に許しを得るといふ風です。その代り舍監もまた信賴される丈けに、非常に行屆いた世話をします。

△舍母はポールス卿の令孃

私がセント、ジョージ、ハウスといふ婦人倶樂部に寄宿致して居る間に、實に理想的な舍母に逢ひまして、もし日本の寄宿舍にもかやうな舍母が得られれば、若い者も、職業を持つて獨立して行く者も、定めし滿足して、寄宿舍生活をする事が出來やうと思ひました。その舍母と申すのは、ポールス卿の令孃で、勿論最高の教育を受けた方でありませうが、我が身が貴族の出であることも、深い素養のあることも、一言半句も語らずして、全く寄宿生の爲めに全身を捧げて働らいて居られます。いくら夜遲く歸りませうが、ちやんと起きて讀書して居られ、戸口の鈴を押すや否や、にこやかな顏して迎へに出られ「さあ、お疲れでせう、お部屋には溫かいミルクとバナ、が取つてありますから、早く召し上つてお休みなさい」と云つて下さるので、外で働き疲れた人もその一言に蘇ります。遊んで遂遲くなつた人も、今度は時を過さないで歸り、どうか迷惑を掛けまいといふ氣になります。

△遠來の旅情を慰めらる

舍母は一度この寄宿舍に足を踏み入れた者は、わが家族として人格を信用し、干涉がましい事を申さずに、しかも一分の隙も無い樣に取締るのは、全く舍母の人格と人知れぬ努力であります。かやうに寮生の爲めに終夜殆ど眠らずに仕事をとられる舍母は、午前中は自分の部屋に居つて休まれ、その間は助手が代つて萬事を處理するのです。私などは幾度この舍母によつて遠來の旅情を慰められたか解りませぬ。日本人といふので、知らぬ間に私の部屋に江戸繪を飾つてくれたりする、その細い心遣ひは母親のやうになつかしまれます。

娘が家庭を離れて、遊學するにつき、安全な住居を撰擇するとすれば、第一寄宿舍がよいと思ひますが、どうか日本の舍母もかやうに立派な方で親切に世話するやうになつてほしい、そしたらどんなに父兄は安心し、學生達は幸福に勉强が出來やうかと思はれます。

子供の智慧

□お母ちやんの勝手

日曜日で昌坊(五)のお父さんも今日はお宅でした、いつも來るお肴屋が鯛を持つて來ましたので、お母さんは鹽燒にしようと用意して居る處へ、お父さんが來ていゝ、いゝ、おつくりにしようと云ひました。横で之を見て居た昌坊は、直ぐにお父さんの前へ走つて行つてお顏を見上げながら「お母ちやんの勝手〳〵」と審判をしましたので、事もなく鹽燒と定まりました。(和)

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

巖谷邸の春遊會

小波さんの小父さん振り 觀客は百二三十人の子供衆

△孰れ劣らぬニコ〱顔

「本日は春遊會員以外の御來客は一切御案内申さず　主人」と筆太に書かれた貼紙が、堅く閉された表玄關の扉に異彩を放つてゐる芝高輪南町の高臺なる巖谷さんの御門を這入ると、春遊會場は此方とばかり案内の漫畫が先づ訪れる者の微笑を誘ふ。後庭に面した四疊六疊八疊の三間には、八疊に設けられた舞臺―春遊會樂天居と云ふ文字と玩具馬の畵がお伽式氣分を漾はせてゐる引幕に對して、ギッシリと詰めかけてゐるのは總勢百二三十人の子供衆、孃ちやん七分、坊ちやん三分の入りで、後方には品のよいお母さま方、或は小波先生のお友達やら門下の面々、孰れ劣らぬニコ〱顔で居並んだ。

△開會と餘興の數々

呑氣な柱時計は二時少し過ぎた處でお休みなしてゐたが、午後四時頃と覺しき頃、時こそよけれと正面舞臺に現はれ出でたる御主人小波先生―「皆さん樂しい春が參りました、今年中を樂しく面白く暮したいと例年の通り茲に春遊會を開きました。何卒皆樣樂しく面白くお遊び下さい！」と、小父さん振りを發揮しての御挨拶に、坊ちやん孃ちやんヤンヤ〱と喝采。餘興に移ると後藤春樹さんのお伽噺ばなし、葛原しげる、沼田笠峯なんど云ふ人々のお伽噺が、一しきり小さい會衆を笑はせる、次いで小波先生作お伽對話「父樣ごつこ」を有樂座小供日の石川木舟社一派が演つてから、竹貫直人さんが怪しげな即席手品で拍手され、一時間休憩。

△夕食のお辨當

休憩中のお樂しみ福引の抽籤は男の子と女の子と別けて、各々適當なものを當てさせる樣にしてあつた。次いで夕食のお辨當が渡ると此日の會の寄生蟲なる大人の男女は二階へ〱と退席を命ぜられ後は天國に屬する子供達の樂天地、大口あいて辨當の征伐を濟ますと「皆んな屍骸を形付けなさい」と小波小父さんの號令一下、小さい兵隊さんが辨當の折を仕末するいぢらしさ、樂しさ。此時、去年の暮生れた小波さんの四男―大正四年に生れたので其名も「大四」と稱ばれる赤ちやんが、舞臺に出陣して安らかな夢を見てゐられたのも、此處此夜ならでは見られぬ光景である。

△二代目小波さん

「たこをどり」の滑稽さで、休憩後の子供達の目は舞臺に奪はれ、木舟君の所謂大奇術に奇術（？）の種明しがあつてから木曜會一派の出しもの「假裝七福神」は、四男大四さんを加へて巖谷家の子寶七人になつたのを祝ふ意味で、各々巧みに化けてゐた。番外狂言には小波先生の御愛嬌を見、最後の喝采を博すべく現はれたのが、小波さんの長男三一君（十六）が舞臺監督兼主任辯士で「みきわ會」一派の出演する新連鎖劇キネドラマと銘打つたる「指環の行方」辯士三一君の口上は三流の活辯はだしの老練さ、「ヤア〱二代目」と大向ふからの喝采しきりに、小波先生またニコ〱もので御見物。―熱心な小さい觀客に背いてお先へ御免を蒙つたのは九時。二月五日、舊曆正月二日の夜は樂しく賑はしく耽けてゆく―

（晃南生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

店頭より（一）

静美堂主人

▼新聞社を退いて小間物商店を開いてから丁度一ヶ年になる。商買其の物が私達に取つては全々未開地であつた。如何にして開墾して行くべきかに就いては人知れぬ苦勞が多かつた。過去一ヶ年の辛い經驗から得た觀察記を此に書く事にした

▼虛榮心と女!! 虛榮心は女の特權かの樣に見做されて居るが、子兒にもあれば動物にもある、或る知人の猫は來客の度に必ず側にやつて來る、若しも客が「綺麗な猫だ」と御座なりに輕く叩くと乙に澄して一時間も喉咽を鳴らして決して側を離れない、さうして見ると虛榮心は誰れでも持つて居る、殊に人間の女は最も露骨に虛榮心を發揮する。虛榮心を滿足させるには

▼他人のお世辭が必要である。世の中にお世辭を好まぬ人は果してあるだらうか、お世辭を多く好む人は虛榮心の强い人に相違ない。世間ではお世辭の藥がきいめのよい人を「お人よし」と云つて居る、之れをもつと露骨に云へば「少し拔けて」居ると云ふ事に到達する。其れにしてもお世辭は

▲商人の金科玉條 である、顏の割には嫌やに大きい根下りの不恰好の島田の所有者に「大さうお髮がよく出來ました」と御世辭を振りまかうものなら、店の鏡に映して不作法にも頭を左右に略六十角度に曲げて頻りに悦に入つて居る。さう云ふ婦人に限つて直ぐお得意になる、其人の年恰好に相應しい色合ひのものを撰んで進めても決して喜んでくれないで「地味じやなくつて」と反感を買ふに定まつて居る。況やお客の年恰好を胸算用で多く見積つて少し地味な物を進め樣ものなら、忽ちお客の自惚を症けて其れは私は品位に關すると云ふ態度で「フーン」と鼻であしらはれる。兎に角、

▲華美過ぎる位 の物を御意に入れやうものなら「少し華美じやなくつて」と反動的に抗議を申込みながら、腹の底から湧き來る自惚の閃きが顏に現はれる。其處で婦人相手の商買の秘訣はかう云ふ事になる「最初には年の割に華美と思ふ物を見せる事」

□東京と大阪の襟卷

東京に流行する襟卷と大阪のそれとは全く違つてゐる。それは氣候の上から自然其趣味を異にしてゐるやうに思はれる、といふのは第一圖の婦人の襟卷は、北風にあほられて吹流しのやうにひらめく所に、所謂東京人の得意が表はれてゐますが、第二圖の婦人即ち大阪の方は東京のやうに風も吹かず暖かいから、風によつて風情を添える必要もないから、長く厚く重い者よりも、輕く涼しげなる、黑に刺繡の花を散らしたベール樣の羅襟卷が非常に流行する。但し此の羅をグル〳〵と首に卷きつけたため、大阪の婦人は皆、黑雲の中から首をのぞかせてゐる型を見せてをります。（大阪より浩一路）

十一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

體質氣質の素因

薄田斬雲

十二

▲運命は母胎内に定まる

私は或る養生家を訪問して種々其說を聽きましたが、其人は私を山の人だと言ひます。詰り人間の體質氣質を山の人と海の人と二樣に大別するので、私は山の人に屬すると云ふのです。私は弘前の城下に生れたので、青森の海からは十二里、日本海からは七里隔るのです。併し交通の便は十分ですから、此の海から捕れる魚は弘前へ澤山に入り、私は少時から每日の樣に魚肉を食つたのです。穀類、野菜、魚肉、果實など平均に食つて育つたかと思ふので、其事を言ひますと、其男が云ふには「否や、山の人と云ふ意味は本來の體質氣質に就いての槪論で、母胎に在つた時に其の素因が備つて了つた事を云ふのです」と。

▲凡人即大偉人

斯う言はれて見ると、私は母の體質氣質を考へて見ない譯にはいきません。母は確かに魚肉よりは野菜を多く食ひ、牛乳牛肉、鷄卵などは嫌つたのです。私は先天的に山の人と生れた事に異存はない樣です。然らば穀食菜食の山の人の特徵はどんなものかと云ふに、斯種の人は肉食をする必要はない。そして體溫は一般に低く、又熱病に罹る事も少なく、可し罹つても熱度が大してのぼらない。隨つて他病併發の危險少なく、何方かと言へば平素餘り強くない樣で居て、敢て大患に罹る事もなく、大體に於て長壽を保つのです。誠に罪のない結構な性分です。だが私の考では斯種の性分は俄分限にもなれず、大望大野心も包藏し得ず、可もなく不可もない凡人に終るのが多いだらうと思ひます。但し百代に傑出する偉人は多く此系統に屬するものらしいので、此點丈けは、我輩も大偉人の素因ありと威張りたくなります。

▲素因の變改は母體から

だが、私は深慮遠謀式の取越し苦勞屋になる事も嫌ひ、萬事に細々しく氣が付く神經質も嫌ひ、先天的の素因を變改して、放膽な、氣樂な、人間になりたいと思ふて、幾ら勉めても、勉める程、反對に神經質な方面へ逆戻りする樣な氣がします。素因の改良は己れ一代では、何等か異常な境遇にでも立たぬ限り、到底出來ないものらしいです。之を成功しやうとするには子の代を經過して孫の代迄及ばさなくてはならないのだらうと思ひます。斯うなると養生と云ふ事は遺傳學と直接の關係を有する事になります。大變難かしい事になりますが、唯だ一つ直ちに實行すべきは、健康な子女を得んと欲せば生れて後、滋養物の、養生のと骨折る前に、先づ兩親の健康を計り、殊に母親が姙娠中特に養生を重んずる事です。素因の內に、山の人たる思慮と、海の人たる活動とを兼ね備へる樣に母親が生活狀態を適應するが肝要の事と思ひます。

▲油と鹽と灰

尙ほ私の目下の身體に就ては、油と鹽

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と灰が缺乏して居るから之を攝取する樣に心掛けよと云ふのです。油も植物性のものが好いと言ひます。所が私の目下の食物は、此の注文とは反對になつて居ます。第一肉や、魚を多く食ふから動物性の脂肪が多く甘い物を多く食ひ、又果實を多く食ふから、鹽分は打消されて缺乏して居る。夫れから纖維や、堅いものを避けて軟かいものを多く食ふから、石灰分も缺けて居ると云ふ次第で、私は此種の食養法に從へば、全然從來と反對の食物を取らなければならない事になります。但し金が掛らない事は幸ひです。

暖い陽氣と化粧

美人となる唯一の法

婦人美容法研究會主任 小口みち子

△私共に嬉しい陽氣

當年はいつになく珍らしい暖かさでございます。かう云ふ陽氣の時にはお化粧をするのに大層都合がよいのでございます。それはどう云ふ譯かと申しますと肌をぬいで白粉をぬつて居りましても、横から〳〵と「トリ肌」になつて終ふやうな寒さの時には、どんなに上手にお化粧をしやうと思ひましても「自然の威力」に逆らふ譯には參りません。ストーブや火鉢で部屋を暖めても、一歩室外へ出ますと忽ちに外氣に襲はれて、兩頰が赤くなつたり、紫になつたり、お化粧崩れが致し易いのですが、當年の如き暖かい冬に於てはそれ計りは免れる事が出來ます。こんな妙な事が私共のやうな仕事に從事して居ります者には他の何物にも替へ難い喜びでございます。

△皮膚に就ての智識

併し乍らどう云ふ工合の物ですか、美顏術やお化粧をするためにゐらつしやいます御婦人方のお顏は、かやうに例にない暖かさにも係らず相當に「アレ」てお出でになります。これは忌憚なく申し上げますと、「御自分の顏や御自分のお皮膚に就いて充分に知る事が少いから」と申したいのです、無責任な廣告文に迷惑されて、御自分の皮膚には誠に不適當な物を熱心にいろ〳〵御使ひになつてゐらつしやいますやうな方が、澤山おありになります。

△常の手入れと皮膚の健康

一體冬になつて顏があれて困るとか春になつてゴキビや吹出物が出て困るとか云ふやうな、そんな期節〳〵に從つていろ〳〵な影響をうけると云ふ事が、既に身體で申しますと健康體でない、何處かに申分のある證據です、其方に最も適はしい方法をもつて相當に手入れをして置くと云ふ事がたつた一つの美人となるべき秘法です。どうにかして其最もよい方法を見出すのが一寸なか〳〵六づかしく面倒な仕事なのです。次回には自分の皮膚に合つた化粧法を述べて見たいと思ひます。

兒童の入學試驗

聞きたる儘に

その母

師範の附屬小學校は一月末から二月初めにかけて入學試問を行ひましたが、小學校の入學試驗にどんな試問をうけたかききたく思つて、今年の試問をうけた子供に就て聞いた通りを書いて見ます。

* * * *

名をよばれて一人でお教場にはいりました。男の先生が二人、女の先生が三人居らつしやいました。先生は鷄の玩具（標本だらうと思ひま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。」を出して此れは何ですかとおきゝになりました。私は鶏ですと云ひましたら先生は何にするものですかと仰しやいましたから、鶏は玉子をうみます。その玉子は人が喰べますと答へました。

それから黄や綠や赤い色糸の巻いてある糸巻を先生が先生の前にお並べになつて、それと同じ色の糸を巻いた糸巻を下さつて、同じやうな順にならべろと仰有りました。それを同じ順にならべてしまふとその糸巻の數はいくつありますかと聞かれましたから、十三あると御返事をしました。

その次に分銅を大きいのと小さいのと出してどつちが大きいときかれました。それを兩方の手にもつて眼をつぶつてどつちがおもいか云つて御覧なさいと聞かれました。その次に牛と馬の玩具を見せて、此れは何といふもので、その啼聲は何といひますかときかれました。その次に松と梅とを見せて此れは何でせうときかれました。松と梅ですと御答へしたらそれでよろしいと仰しやつて試驗はすみました。體格檢査は耳と眼と喉と胸のまはりをはかつたゝけでした。

美味しい五目壽司

櫻井ちか子

初春が參りました、野や山にお出かけの節、美味しいお壽司は一番の御馳走です。今回は最も普通な五目壽司を、美味しく拵らへる仕方を掲げて見ませう

△御飯の御き方　普通に炊き、蒸れ加減のよいところで、飯臺に取りながら、白砂糖と鹽とをお飯に振りかけ、お飯を取り切つてから一度に酢を振りかけ攪きながら掻き交ぜるのです。酢は一升の御飯に一合二勺、白砂糖、鹽は各々小盃一杯位の割で入れます。酢は前以て拵へて置くのですが、その拵へ方一二種を次に記しませう。この中隨意の一種を用ゐればよいのです。此の際御飯は普通に炊けばよいので、別に強く炊く必要はありません。蒸れ過た御飯で拵へた壽司は不味ものですから氣をつけなければなりません。

△砂糖、酢　酢一合の中へ白砂糖一匙、鹽一匙を加減し、一旦煮立てゝ冷めて後は飯に交ぜるのです。

△油揚、酢　油揚を細かに刻み、酢一合に付油揚一枚の割にして、白砂糖と鹽とを加へ、一旦煮立てるのです。冷めた頃油揚を絞りあげて其中へ具の煮汁少しを加へ、御飯の中に交ぜます。其の油揚も一所に交ぜこむのです。

△魚酢　魚を普通酢魚にする様に切つて一寸鹽をして置きます。十分位してから酢をかけ、魚の色の變つたところに、魚を絞り上げ、其の酢の中へ白砂糖と鹽少しを加へて御飯に交ぜます。此の酢の中へ柚子の汁を入れゝば香氣が付いて尚美味しくなります。魚は鯛、比目魚の如き白身の魚がよいのです。かうして拵へた壽司は御飯だけで十分に味がついて居りますから、御飯が冷めた後、兼て用意して置いた具を入れゝばよいのです。

△具の煮方　壽司の具に時節によつて取り合せが色々になりますが、松茸壽司、筍壽司などに、特に美味いものです。何時拵へても用ゐられるものは椎茸、干瓢、牛蒡、胡蘿蔔、蓮などですが、其の中牛蒡は細かに切つてから一旦水に浸けて灰汁を抜き筍の時分ならば筍と一所に煮てよいのです。干瓢は鹽でもみ、よく洗つてから茹でると柔かになります。柔かになつたところで、醬油、砂糖、鰹節で味をつけるのです。椎茸は暫時水に浸して柔かくなつたところで軸を切り除り、一分位に刻み、醬油砂糖で味をつけて壽司の上の飾りに用ゐます。高野豆腐のおぼろ煮も飾りによいものです。高野豆腐は始め、鉢に入れ清潔な灰をかけ、其の上から湯を注いで暫く置き、軟くなつた時に其の湯を捨て、綺麗な湯を注ぎこんで其の中で度々揺ると汚い汁が取れます。それを鰹節の出汁で二十分間煮てから冷めたところで手でもみ崩すか、又は擂鉢で擂り崩して、鹽と砂糖で味をつけ食用紅で色をつけると海老のおぼろの様に見えて精進壽司の飾りには適當なものが出來ます。蓮は皮を厚く剝き小口から薄く刻んで鹽水に十分間位ゐ浸けて洗き、流に洗ひ揚げて水をきり、白砂糖と鹽及び酢で一寸煮るのです。蓮を煮る時に蓋をして煮てはいけません。

△壽司の炊飯の分量　に、お茶受けに食へるのには一人前五勺位に、御飯の代りにするには一人前一合位でよいのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

伊那の笹原

綾羽

昔攝津國に伊那の笹原と云ふ處がありました。其處は丁度摺鉢の樣に眞中の凹んだ處で、一面に笹が生茂つて居ました。其處に生えて居る笹を一枚でも折ると、折つた人は氣狂ひになると大昔から云ひ傳へられて居ました。

其の伊那の笹原の近くに雉六、雉七と云ふ兄弟がありました。二人は野や山を歩く事が大好きで、いつも伊那の笹原をながめては「一度あの笹原にはいつて見たいものだなあ」と云つて居ました。お母樣のお鹿は「あの伊那の笹原にはいると、誰でも急に笹が折りたくなつて、しらずしらずに笹を折つて氣違ひになると昔から云つて居ます。決してあんな怖しい處へ行つてはいけません」といひました。雉六と雉七は笹原には行きたかつたのですが、氣違ひになるのは怖しかつたので、笹原にはいる事は止めました。

或る暖かい春の日、お母樣は隣村に買物に出かけました。雉六と雉七の兄弟は日當りのいゝ椽側に出て、伊那の笹原の方をながめて居ました。「行つて見たいなあ」と雉六が云ひました。「笹さへ折らなければいゝ。兄さん行つて見ませう」と雉七が云ひました。

二人は手を引いて笹原の前に來ました。二歩三歩怖る／＼笹原の中に二人ははいりました。雉六は立どまりました。「もし笹が折りたくなると大變だ。氣違ひになるのは厭やだ」と雉六が云ひました。「兄樣は弱虫だなあ。俺は一人で行く」と雉七が云ひました。「俺は歸るよ」と云つて雉六は跡をも見ずに家に歸つて來ました。

お母樣は隣村から歸つて此の事をきいて「まあ飛んでもない。どうしたらよからう」と云つて村の人をたのんで、笹原の周圍を「雉七やあい。雉七やあい」と鐘や太鼓をたゝいてさがさせましたが、笹原は風が吹くばかりで、雉七の聲もきこえませんでした。

その翌る日もその翌る日も雉七はとう／＼歸つて來ませんでした。それから一週間も經つた頃、髪を蓬々とさした氣違ひが笹をかついで、伊奈の笹原から出て來ました。それは雉七でありました。雉六は一と歩笹原にふみこんでも、思ひかへして家に歸つたばかりに、氣違ひにならないですんだ事を嬉しく思ひましたが、なぜあの時、弟の雉七を一處につれて歸らなかつたかと後悔しました。そして氣違ひになつた雉七を家につれて歸つて、お母樣と一生懸命で看病しましたが、雉七の氣違ひはなほりませんでした。

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり
又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す
家庭的寄宿舍の設けあり
ピアノ個人教授の需めに應ず

本郷區彌生町三番地
英語專門私立 櫻井女塾
電話下谷六八一五番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界名女傳

ユーゴーの母（下）

△天才兒の誘掖

千八百十七年に佛國學士會院で賞をかけて詩を募つた。詩中に作者はまだ十五歳になつて居ないといふ事が書いてあつたので、學士會院では之を怪んで、其價値を認めながら一等賞を與へなかつた。後學士會院で公衆の前で當選の詩を朗讀した時に、ユーゴーの詩が一番賞賛せられた。之を聞いて居た兄が大急ぎで此事をユーゴーに報知した時、當人は毬投げをして居て、一向取りあはうともしなかつた。

其後學士會院の報告書に、もしユーゴーと云ふ人が自稱する年齢が僞でないならば、學士會ではまた別の所置を取らなければならないと書いてあつたので、母は之を見て大變に憤つて、直にユーゴーとその誕生日證明書とを携へて學士會院の書記を訪問した。書記は十五歳のユーゴーを見て吃驚した。

△夫妻の別居

ユーゴーの父はナポレオン黨であるのに、母は熱心なブルボン贔負であつたので、いつも議論に花が咲いて、終に夫妻別居する事になつた。そしてユーゴー兄弟は母に伴はれた。母はユーゴーを一番に可愛がつた。非凡の才能を看取して、ひたすら之を批護し、奬勵した。かつて、母が病氣をした時、ユーゴー兄弟は代る〴〵徹夜して介抱した。其時分にヘンリー四世の銅像を建設せられるのについて其銘にする詩をまた懸賞で募集せられて居た。其の〆切期日の前夜、ユーゴーは母の病床につき添うて居た。母から「お前もう懸賞の詩は送つたのでせうね」と云はれたので、ユーゴーは「此頃少し忙しいので作らずに居ります」と答へた。母はよほど失望した。けれども言葉すくなに之を諫めただけであつた。ユーゴーは母の眠るのを待つて、筆と紙を持ち出して一心に詩作にかゝつた。そして徹夜で長詩を作りあげた。そして翌朝母が目を醒ますのを待ちかねて、之をその手の中においた。母は之を見て泣いて喜んだ。そして其詩は一等に當選したのであつた。

ユーゴーは母の奬勵と誘掖によつてます〳〵その天賦の才能を研磨した。學校を卒へてからも文學上の修養と著作に専ら其時間を費した。

△「女は弱し、されど母は強し」

千八百二十一年の六月に母は肺炎衝を病んで、非常に衰弱した。ユーゴーは兄と共に之を看護した。ある日兄が「今日は大層よくおやすみなさる、よほど御氣分がよいと見える」と云つたのでユーゴーは「もう直に全快なさるに違ひない」と答へて、その額に接吻すると、母はもう冷くなつてしまつて居た。蔭になり日向になつて、二十一年の間此天才をはくゝみ育てた賢き母は、かくして此世を去つたのであつた。「女は弱し、されど母は強し」とユーゴーは云つた。（翠子）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全譯 何處へゆく（七）

松本雲舟

訪問の三

ジユピター神堂の方へ擴がれる市場には、かういふ店を張つた家が澤山にあつた。嶮しい神堂の直ぐ下にある市場は最早半ばの薄暗がりになつて、神殿を飾る圓柱は金色に又藍色にぴか／＼光つてゐた。低い面に立つてゐる圓柱は大理石の板に長い影を投げてゐた。實際到る處に圓柱が澤山立つてゐるので、森の中のやうに眼まぎひする。これらの建物と圓柱とは、互に層なり合つたり、右と左に走つたり、岡を登つたり、神堂の壁の蔭に隠れたり、樹のやうに互に巻きついたりした。大きいの、小さいの、厚いの、薄いの、金色の、白色のが、軒緣の下でアカントス科の花が咲いたり、イオニヤ風の螺旋で飾られたり、簡單なドリヤ風の方形を被せられたりしてゐる。圓柱の森には色彩つた竪筋紛様がきら／＼した。破風の三角面から彫刻した神々の像が歩み出す。翼の生えた金色の四馬の兵車が甍から室中へ一群がる殿堂の此の都の上を覆へる沈靜の青空へ飛ばんとする勢を示してゐる。市場の眞中にも端にも、市民が急足に歩いてゐる。群衆はジユリアス●シーザーの墓の門の下を彷つたり、カストアとポラクスの殿堂の階段に坐つたり、ヴエスタの小さな殿堂のまはりを歩いたりしてゐる狀は、恰かも蝶や甲蟲の雜色の群がこの廣々とした大理石の庭に動いてゐるやうであつた。ジユピター●オプチモ●マキシモを祭つた殿堂の側にある大きな階段には、新らしい群衆の波が高まつた。羅馬人は演壇場に立てる演說家の話に耳を傾しげてゐる。あちこちに行商人の聲がする。果物、酒、無花果水を賣るのだ。萬效丸を賣る露店商人、隠れた寶を探すといふト者、夢判斷者などの叫び聲がする。話聲や行商人の聲の上に、埃及の竪琴や、シストラム（樂器）の音や、希臘の笛の音などが聽ゆる。それから病人や信心家や惱める人が殿堂に捧物を持つて來る。群衆の中に、鳩の群が大理石の舗石に降りて來て、捧げられた穀類を熱心に拾つてゐる。それが雜色の黑づんだ形で動いてゐるかと思ふと、羽叩き勇しく空中に飛び上つた、又群衆の立ち退いた空地に降りて來る。絶えず駕が通るので、人民は路を開けさせられる。其の駕の中から、お化粧した婦人の面や、貴族の頭が見える。種々な人種の寄合である群衆は、其の名前や綽名を呼んで嘲つたり、賞めたりする。時々この混雜した中を、兵隊や護衛兵が足並をそろへて路を進むので、街道は秩序正しくなる。四方に希臘語に羅典語と同じやうに使はれてゐる。

ヴイニチウスは永いこと都に居らなかつたので、蟻のやうな人山や有名な羅馬の市場を珍らしげに眺めた。この群衆は地の四隅から挨拶しかけるかと思ふと、忽ち又その聲が消えてしまうのだ。ペトロニウスはヴイニチウスの想ひを見拔い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、市場のことを「武士のゐない武士の巣窟だ」と言つた。實際眞の羅馬人は有ゆる人種や國民の代表者である群衆の中に全く沒せられてゐる。

黑人や毛深い北極の人やブリトン人やゴール人や獨逸人や斜視のセレスの移民やユーフラテの民や煉瓦色の髯をした印度人や、黒い媚るやうな眼をして骨のやうに乾枯びたオロンテス岸のシリヤ人アラビヤ砂漠の牧民、胸の沈んだ猶太人變らない冷淡な笑顏をした埃及人、又ギリシヤ人、アフリカ人、羅馬人と對等に羅馬を支配して、科學、藝術、智慧、横着に於て勝つてゐるヘラス生れの希臘人、多島海生れの希臘人、小亞細亞、埃及、伊太利、ゴール生れの人がゐた。耳を穿つた奴隷の群の中には、自由を得た人々も尠くなかつた。それは皇帝が慰みに衣物を着せて、自分の費用で養つておく遊び人である。中には働かずに喰ふ道を求めて、成功を望んで大きな都に引き着けられて自分の考でやつて來た移住民や、高利貸や、兩手に棕櫚の枝を持つたセラピスの僧侶や、ジュピター神堂よりも供物の多いイシスの僧侶や、兩手に玉蜀黍の金色の果を運ぶキベルの僧侶や、彷ふ神々の僧侶や、輝く冠を被つた東邦の舞踏者や、護符を賣歩く者や、蛇使ひや、カルデヤの占者や、仕事のない無宿者が澤山にゐる。これらの無宿者は毎週パンを求めてタイバーの向ふ岸の倉庫に向ひ又演武場で富籤を得るために戰ひ、河向ふの永い事ぐら／＼してゐる家で夜を過し、日の照る暖かな日には、玄關の下やスブラの穢ない酒場や、ミルヴィヤ橋の上や、有名な羅馬人の別莊の前などにぶら／＼してゐると、絶えず奴隷の食卓の殘物が彼等に投げ與へられるのであつた。

ペトロニウスはよくこの群衆を知つてゐた。八方から、「あの人だ」といふ叫び聲がヴイニチウスの耳に達した。ペトロニウスは寛大な人物だといふので愛されてゐた。殊に羅馬人はペトロニウスが總督ペダニウス●セクンダスの奴隷の一人が絶望に驅られて、暴虐な主人を殺したといふので、男女の別ちなく奴隷達を悉く死に處するといふ宣告を廢止するやうに皇帝に奏請したと聽いたので、益々其の人望を増すやうになつた。ペトロニウスは其の事件が全く自分に關係のない事であつたが、さやうな野蠻な虐殺はシシヤ人なら兎に角、羅馬人には適はしくないので、趣味の審判者たる自分の美感を傷つけるので、個人の格で皇帝の前に出たのだと公言した。群衆は其の刑罰に激昂したが、兎に角其の時からペトロニウスを崇拜した。

けれどもペトロニウスはこの人望を何とも思はなかつた。彼はネロに毒殺されたブリタニクスや、皇帝の命で暗殺されたアグリピナ、血管を切斷してから、パンジタリヤの浴場で窒息させられたオクタヴィア、追放せられたルベエリウス●プラウタス、毎日死の宣告を待ちながら生きてゐるトラセヤが亦群衆に愛せられたことを忘れなかつた。

甲斐の家　安中花子

みづからにあきたらぬ日の幾日か續きし
夜なり風あらく吹く。
二人して野末の家に住まむ日のことなど
思ひ母をながむる。
かゝる時かゝる思もありけりと長くとゞ
めむ我が胸の文。
甲斐の家はたちの母がえんがはに手まり
つきては涙せし家。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉**皇后、新宮御避寒**　皇后陛下には八日午前十時東京驛御發葉山に御避寒遊されたるが、新宮澄宮殿下には御母陛下に隨はせられ最初の御旅に上らせられたり。

●**大禮奉祝品御臺覽**　皇后陛下には七日午後二時赤坂離宮に行啓あらせられ各所よりの奉祝品を御巡覽午後四時青山御所に還啓相成りたり。

◉**法王使節の動靜**　二日朝入京したる羅馬法王使節ペトレリー大司敎は三日　天皇陛下に謁見、法王の親書を捧げたるが四日は三越白木を見物し、五日は帝國大學、上野博物館、淺草寺を巡覽されたるが、永く國賓の待遇を受くるは畏れ多しとて六日帝國ホテルより築地天主敎會の賓客となられたり。

◉**土耳其皇儲の自殺**　土耳其皇太子ユサフ・イゼッヂンエッフエンヂは二日朝皇宮内にて動脈を切斷し自殺したりと。

◉**露國首相更迭**　露國内閣總理大臣ゴレムキン氏辭職し氏の親友ボーリス・ウラジミロキッチ・シュチュルメル氏其後任として首相となる。

◉**加奈陀議會の椿事**　三日夜加奈陀議事堂の圖書館より出火し議事堂は全燒したり、農相以下數名負傷、婦人巡査二名及使用人二名燒死したり、原因は獨探の爆彈放火ならんと。

◉**支那内亂平定前途遼遠**　雲南討伐軍の先鋒張敬堯は已に攻勢を執りたりとの說あるも幾多の情報に照し南軍の勢力却々强大にして袁政府の考ふる如く速に動亂の平定を見る事難かるべく其前途は尙遼遠なりと云ふ。

◉**家庭用品の暴騰**　時局の影響を受けて、小間物化粧品より日常の必要品に至るまで非常の暴騰にて、化粧石鹸の如きは三割、苛性曹達約六倍、グリスリン四倍となり、尙ほ小間物類は五割より三倍の騰貴を見るに至れり。

◉**印刷業の値上と雜誌**　都下印刷業者は錫其他の材料暴騰の爲め三日協議會を用きたる結果三割の印刷代値上を決定したるが續いて雜誌業組合も二割以上の値上を斷行する事になれりと。

◉**著作家の協會成らん**　著作家相互の團結親和と權利伸長とを目的とする著作家の大團結を爲さんとする著作家協會發起人會第四回は、去る四日夜萬世橋驛樓上ミカド支店にて開催、會則草案を議定し實行委員を擧げて同協會の成立を期すべしと。

◉**婦人農會生る**　愛知縣寶飯郡大塚村にては郡長郡技手等の盡力にて五日同村小學校に於て婦人農會の發會式を擧行せりと。

◉**母子四人の投身**　神奈川縣橘樹郡大師河原村字大師河原一五三女髮結亡秀次郎妻市瀬けい(二十九)は三男春雄(八歳)四男政次(五歳)二女ちよ(三歳)の三人の身體を縛り付け同村中瀬耕地二一七九大村豐次郎方裏手の通稱金公と稱する池に投身して自殺を遂げたり、原因は亡夫秀次郎が生前親族の者より金三十圓を借り受け居たるを此頃に至り矢の催促を受け一旦返却せば又貸すとの事に出來ぬ工面をして返したるも、最早貸さぬとの挨拶に遂に世の中を悲觀して此始末に及びしものなりと、其情眞に哀むべし。

◉**婦人記者倶樂部例會**　廿五日午前十時より、赤坂溜池婦人矯風會内に例會を開く。大澤豐子(時事)竹中繁子(朝日)神近市子(東京日々)野口精子(新女界)守屋東子(婦人新報)及び本紙の小橋三四子等會合し歡談の中に經驗を交換し、午餐を共にして二時頃散會せり。

女學校だより

△**女子美術附屬高等女子校**　本月七日を以つて私立佐藤高等女學校と改稱せり。

△**聖心女學院**　芝白金三光町なる同院は來四月より女子に英語英文學を主とし高等普通學を授くべく高等專門部を開設すべしと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人消息

▲武富慶子刀自(敏相母堂) 藥石効なく三日腎臓病にて逝去せらる。享年八十歳、尚ほ遺骸は七日午前八時郷里佐賀に向けて送られたり。

▲石井外相夫人　爾今毎月第一及第三木曜日午後三時より六時迄來客に接見すべしと。

編輯室より

▲編輯室から新見附の土手を眺めますと、緑りがゝつた樹々に投げられる太陽の光が、春の來たのを告げて居ります。一日閑暇あらば梅の香を探ねやうと、同人申合せてゐます。▲本號の「他人の家庭か寄宿舍か」は前號學校調べの續論とも見るべきものですが、今後も之れに關聯した問題を捕へて諸名家の御意見を伺ふつもりです。▲「店頭より」の執筆者郁美堂主人は所謂商人ではなく頭もあり筆も持てる小間物屋の若い主人ですが、本號のは序論にすぎないと申して居りますから、次號から奇抜な觀察を書かれる事でせう。▲校正に編輯子が疲れ果てゝ居る處にAさんが「喜こばしてあげませう」と柄にない縮緬の布久紗から箱熟でない若々しい蜜柑を出して「大磯の根津さんの別莊に出來たのですつて……美事なものぢやありませんか!!」と香も清々しいのに甦つた氣で再び仕事にかゝりました。

人事相談所

本所は婦人週報社の附属事業として、世の煩悶に悩める男女に同情し、精神上、生活上、職業上其他有らゆる相談に應じ、無料にて最も善き解決を與へます。但し費用を要する御相談は實費を申受けます。

本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の據證調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所

●婦人週報定價(毎週金曜發行)

壹部	金五錢 (但し郵送料五厘を含む)
一月	金貳拾錢(四部又は五部)
三月	金六拾錢(十三部)
半年	金壹圓拾錢(廿六部)
一年	金貳圓貳拾錢(五十二部)

●本誌廣告料

特等(表紙の二、四)	金參拾圓
壹等(表紙の三、白紙前付)	金貳拾五圓
貳等(色紙の表側)	金貳拾貳圓
參等(色紙の内側)	金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替宛名は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行兼編輯人　小橋三四子
印刷人　同人
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

目の醒るやうな
初春の新裝には是非
この白粉

■**初春の新裝には**
純日本式の新いお化粧法
に限ります。新しい純日本式のお化粧と申しますのは、從來の舊式化粧のやうに、けばけばしく不自然な厭味なものではなく塗けて少しも態とらしいとか不自然な跡のない。

■**活々とした**
現代式のお化粧で
ございます。其れには皆樣も御承知の學者の創つた高貴御料の白粉、言ひ換れば生れつき色の白いやうな白さに塗く美顏白粉をお用ひになるのが一番でございます。よく

■**ガサガサとアレた方**
脂肪多過る方などが
舊式化粧を遊ばす處を見ますと目のまはり、鼻の側、額の生際などに白粉の濃淡が出來たり、又白粉が片寄てしまつて、頬のあたりからアレた地肌が現はれたり一寸物を召上つたばかりで口の周圍の白粉が剝げ、

■**口が大きく見えて**
變な顏になつたり
するやうな缺點が數限りなくございまして、これでは如何にお氣に召したお好み新裝を飾り立てられた處で少しもお衣裳が引立たず、却つて下品にも亦滑稽に見えるものでございますが美顏白粉さへ召せば如何な肌の方にもノビノリ非常によく決していつ迄經ても生れつき色の白いやうな白さが崩れませずお召し物を一段引き立てます。殊にお正月は誰方でも

■**追羽子とか骨牌取とか**
及至惠方詣や御年首に
夜を更し寒い冷たい風に曝されてお外出遊ばすものですから、這う言ふ時にも平生アレ性の方は餘程肌の手入れをよく遊ばさぬと、お歸りになつてからお顏を撫で、見てオヤこんなにアレたと

■**我知らず驚き周章て鏡の**
前へ駈つけても最早遲蒔
で、顏の皮膚は一面に塵埃と寒風に吹き荒されて、怎うにも這うにも手のつけやうがなく、これは了つたと元旦早々緣起でもない涙ぐまねばならぬやうな結果を來しますから

■**お外出の時は何は措ても**
皮膚美を保護する
美顏ユーマーを御持參なさいまし。美顏ユーマーは化粧品界最近の發明品で地肌の肌理を細かくし、色を白くする上に如何な寒さに會ても一滴つければ決してアレの心配がございません。ですからお正月のお化粧には以上の二品を缺さぬやう遊ばせば滅多に他人樣のお化粧に劣けは取りません。

園藝實驗大家 千葉晩香先生 發見
長崎藥學士 岡村繁先生 製劑

美妙水

大瓶金廿五錢
中瓶金拾五錢
各送料金八錢宛
(海外に別送料)

●美妙水の著能
▲凍傷 ▲濕疹 ▲疥癬
▲虻蜂 ▲南京蟲等の螫刺
其他

發賣元 横濱市青木町輕井澤一九五五 龍明堂 千葉せい
(振替東京壹六五四參番)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入社御望の方は婦人週報社にて御取次も致します

安心して買物が出來る（東京市及び市附近郡部に限る）

我購買組合共榮社は米を始め凡ての食料品幷に多數の日用品を品質精選の上多量纏めて割安に仕入れるので之を普通の店より安價に本組合員に分配致します營利に傾かぬのが本社の特色とする處で尚多少の利益を剩す場合には其剩餘金は我組合員の購買高に應じて割戻の方法もあります御用聞も配達も隔日參上致させます

本組合現在員數一千五百餘名（御望みの方には組合員名簿一部進呈）主に中流以上の御家庭が多い◎婦人週報愛讀者にして入社御望みの方には本社最近の成績報告書、組合員名簿、最近物價表等特に進呈致しますからハガキなり御電話なりで御申越下さい尚御不審の點は社員をして御說明申し上げます◎責任を明かにする爲め左に本社員の名を列記しました

◉役員

理事長 伊澤良立　理事 船尾榮太郎
理事 岡本利兵衛　理事 高津次盛
理事 足立莊　理事 加納與四郎
理事 菊池綾五郎　監事 倉知誠夫

◉評議員

井上敏夫　岩崎一　村井貞之助　岩本述太郎
原田虎太郎　波多野承五郎　堀井卯之助　太田黑重五郎
和田豐治　子爵 加納久宜　鎌田榮吉　門野重九郎
加藤木重敎　門野幾之進　津田與二　男爵 長松篤棐
內田直三　久米良作　松尾濟次郎　靑木大三郎
坂田實　菊地武德　北川禮弼　由井彥太郎
日比翁助　平尾信壽　鈴木梅四郎　竹村良貞
村上定　武知直道

東京京橋區新肴町一丁目八番地　電話京橋（二一七〇番 二二〇五番）

有限責任 購買組合 共榮社

生れつき姿の惡るい方でも帶を上手にしめると見違へる樣に恰好よくなります誠に婦人の姿は帶の形ち一つで御上品にも「しだら」なくもなりますが、さて帶を上手に締めると云ふ事も簡單の樣で中々六ケ敷事で十中の八九は「おたいこ」が「だぶ」ついて見苦るしくなつて居ります之れはつまり帶上げが下がるからであります然るに本品を御使用遊ばさばどんなにしても帶上げの下がる事なく「おたいこ」の形ちも締めたまゝに「きちん」となつて常に見る姿が美くしく保たれます、のみならず帶上げを高く結び上げられますから一般に丈の低い日本婦人には帶から下が長く見えて肘、脊中、帶の調和が誠によく姿が「ほつそり」見えます、又衛生上本品をお用になれば帶上げで胸を締めつけないでも濟むから呼吸が自然で女子本來の呼吸（即ち胸式呼吸）を完全に營む事が出來ますつまり內臟（肺、心臟、胃等）の機能を十分に行ふ事が出來る理けでありますから、故に衛生上極めて理想的の品であります。

專賣特許

審美的な、衛生的な

帶あげ止め

定價三十錢ヨリ

■販賣店■

三越吳服店
三越大阪支店
白木屋吳服店
松屋吳服店
松坂屋吳服店
大西白牡丹
小間物問屋 萬新商店
同 富士喜商店
本社代理部

京都染物

御誂御好に應じ御古物染直しにても御新らしき品同様美麗にいたし候

あらいはり、しみぬき、ゆのし、

右之通迅速を旨とし精々入念廉價に調進可仕候間多少に拘らず御用向被仰付度偏に奉願上候

宮内省初め女子大學校の御用を承り居候

東京市本郷區湯島新花町八番地（靈雲寺門前）

井筒屋支店 中村榮次郎

御注文の節は御一報被下候へば早速御伺可申候　電話下谷五六七四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA